

# のぞみふくいニューズレター

第25号 (H22. 5月)



(財)がんと子供を守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

風薫る5月。ゴールデンウィーク。今年は、この時期なのに気温が低い日が続いています。お体に気をつけられ、ゆっくり休日をご家族で過ごしてください。連休明けの土曜ですが、お時間があれば、5月8日の小児がんセミナー福井においてください。小児がんの子どもたちのドキュメンタリー「風のかたち」の映画は、今、全国で上映会が行われていて、盛況だそうです。その一部ドクター編をご覧ください。また、ピアカウンセリング、病院の病棟内で活動されているNPO ぶくぶくバルーンの代表、大竹さんによる、バルーンアートの講習会もあります。福井駅東 AOSSA 7階です (文責：代表幹事。)

## 福井県難病患者団体連絡協議会 総会 & 行政との懇談会

4月24日に福井県職員会館にて、総会が行われました。今年で協議会が発足して、10周年になるそうです。そのうち、福井支部は加入して5年になります。子どもと大人の難病の患者団体が、県の難病支援センターと相互協力して、患者さんのためになることを提供していく趣旨です。今回は、福井で個人で落語をしていらっしゃる、早起亭亭貞九郎さんの落語の公演もありました。久しぶりに笑ってリフレッシュした感じです。行政との懇談会は、事前に行政(県健康増進課)に対する意見、要望(1.小児慢性特定疾患の助成が20歳で終了してからの援助。2.小児がん治療終了後のサポート、自立支援。3.小児の難病で亡くなった子どもの親、家族へのケアサポート体制。4.小児がん患者への情報提供、広報の協力)を提出していて、そのお返事をいただきました。しかしながら、どの項目もよい返事をいただけませんでした。国や県のがん対策にしても、難病対策にしても、大人への施策が先で、子どもはないがしろにされている観があります。子どもでも、病児への対策は後回しにされている用を感じるの、わたしだけでしょうか。小児難病で亡くなった子どもの家族のグリーフケアに関しては、今後、精神保健センターと協力できるように働きかけていこうと思います。

## 奥越地区で、ピアカウンセリング交流会を開催します。

2010年6月6日(日) 13:30から16:30まで 勝山市福祉健康センターすこやか 第一会議室にて

今年度は、横長の福井県各地に足を運んで、交流会を開いて、なかなか参加できないと思われる方にも参加してもらおうと思っております。第一回目は、ようやく暖かくなった奥越地区 勝山まで行きます。この機会にお近くの方は、是非おいでくださいませ。同じ経験をしたもの同士だから、気兼ねなくお話できることもあります。お話することで、心が軽くなったりします。いろいろな情報を得られるかもしれません。一歩前へ踏み出すチャンスかもしれません。

お待ちしております。

お問い合わせやご意見は、上記記載の福井支部事務局へお気軽にどうぞ。。